



年頭のご挨拶

「組織一丸となり、各種課題の前進に向け果敢に挑戦しよう」



東北情報インフラユニオン
執行委員長 村上良智



2024年
新年特集号

【発行元】



情報労連 通建連合
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺1-2-7
T T K新寺第二ビル3階
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 村上 良智
編集責任者: 曾根 健佑

組合員としてご家族の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

発症確認から4年以上が経過した、新型コロナウイルス感染症については、昨年5月に法律上の位置づけが5類に変更となり、各種制限が緩和され、社会経済活動も以前の状態へ戻りつつある中で、年末年始をご家族で過ごされ、心身ともにリフレッシュをされ新しい年をスタートされているものと思います。また、昨年中は東北情報インフラユニオンの各種取り組みに対し、ご理解とご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、トルコ南部で発生したトルコ・シリア大地震、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、イスラエル・ハマス紛争など大規模な自然災害に加え、平和・人権問題など世界的に暗いニュースが続く中で、国内においては、ジャニーズ喜多川氏の性加害の問題が浮き彫りとなり、海外などの報道などによれば、日本の公然の秘密と称され、メディアなどの報道機関の経営力バナンスなどが求められる結果となりました。

一方で、スポーツ界における明るい話題としては、「第5回WBC2023」が3月に開催され、MLBのアメリカ代表を含む全20チームが参加し開催されました。我々日本代表侍ジャパンは、1ラウンドから決勝まで負けなしの3大会ぶり3回目の優勝を果たし、MVPにはリアル2刀流で出場した東北出身の大谷選手が獲得する結果となりました。激しい試合が続く中で、大谷選手やダルビッシュ有選手などを中心に最後まで諦めない粘り強い姿勢は、多くの方々に感動と勇気を与えてくれました。

通建業界においては全国的に多くの人身事故が発生したこと、インフラ東北としても「東北からは絶対に事故が発生させない」との強い認識で労使連携を図りながら事故撲滅に向けて様々な取り組みを展開してまいりましたが、残念ながらインフラ東北管内において、昨年10月から12月にかけて、5件もの人身事故が連続発生しました。本年においても、再発防止の徹底は勿論のこと、昨年の事故発生状況について重大な危機感を持ち、労使におけるこれまでの取り組みを振り返りつつ、改めて原点に立ち返った取り組みの強化をしていきたいと考えております。

いずれにしても、安全労働を確立していくうえでも、常日頃からの地道な取り組みが重要であり、働くものすべてが心の底から「安全は何よりも優先する」と言えるような職場風土の醸成に向け、これまでの取り組みを振り返りつつ重大な決意をもって「安全労働の確立」そして、「安全で安心して働ける職場づくり」に向け取り組む所存であります。

東日本大震災による復興・再生に向けては、「復興まちづくり事業」は完了する中で、福島県の沿岸部を中心にいまだに多くの被災者が避難生活を余儀なくされていることに加え、増え続ける処理水の問題については、震災発生から12年余りを経て動き出したものの、処理水の完了には、30年程度の期間が必要となり安全確保と海産物などへの風評被害などへの対応が必要であり、復興への道半ばにあるものと考えます。

また、近年では、日本各地で地震・台風に加え、気候変動による温暖化により豪雨などの自然災害が発生し大きな被害を各地でもたらしており、減災・防災などに対する備えがより重要なものとなってきていると判断します。

被災地に地を置く労働組合として、社会的役割や責任などを認識しつつ、「東日本大震災を伝え続ける活動」に加え、被災者目線に立った支援活動などを継続して実施していきたいと考えておりますので、組合員の皆様のご支援・ご協力をお願いします。

今年も多岐にわたる課題が山積しております。真剣に運動課題に向きあい組合員の皆様と心ひとつに東北情報インフラユニオンの組織を集結し、自主・自律・主体的な運動の実践・強化を図るべく臆せず、各種課題の前進に向け果敢にチャレンジしていきたいと考えます。

最後になりますが、この1年が組合員の皆様並びにご家族の皆様にとって、明るく希望の持てる年となり、併せて運動課題の前進が図れる年にできますよう皆様のご協力を重ねてお願いし、新年の挨拶とします。

～情報労連組織内議員 新年のご挨拶～

東北情報インフラユニオンの皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃から大きなご支援を賜り、私の政治活動をお支えいただき、心から感謝申し上げます。

立憲民主党政務調査副会長を拝命して2年目、党の政策をつかみ、ボジションであり、これまで訴えてきた「いのち、子ども、暮らしを守る」政治を、政策に強く反映させていく思いで取り組んでいます。

昨秋には、物価高対策を含む、立憲民主党の経済政策一人からは「経済再生」をつくりました。今こそ、「人」への投資を徹底し、所得を伸ばし、産業を伸ばすためのダイナミックな経済と政治への転換が必要です。

重要なテーマは「グリーン、ライフ、ローカル、デジタル」。省エネ・再エネ・脱炭素を徹底し、グリーン成長を社会の変革に繋げます。

いのちを守るため、創業・バイオフィンダーをはじめ、研究開発費を大幅に引き上げること、新産業と雇用の創出を徹底して後押しする。

大都市圏への人口集中を緩和し、持続可能な分散型社会への転換を図る。

デジタル化でインバウンドを起すとともに働き方を改革する。

そして、これらの新たな分野を担う「人」を、とことん支える。

- ・短期主義経営の見直しやコーポレートガバナンス改革により、給料や手取りを増やし、中長期的な経常利益を高く維持する経営を奨励する。
- ・格差を是正し、一人一人が安心して消費することのできる環境を整える。
- ・教育を無償化するとともに、リスキリングやリカレント教育を拡充し、誰もが安心して学び、また学び直すことのできる環境をつくる。

これが、私が精魂込めてつくった立憲民主党の経済政策「人からはじまる経済再生」の柱です。

これからはますます政策を訴え、現政権に対峙する国民の選択肢となるべく、全力で取り組んで参ります。

東北情報インフラユニオンの皆様、今年一年のご多幸を祈念申し上げます。



岡本あき 子
衆議院議員



吉川さおり 参議院議員

本年もよろしくお願い申し上げます

二〇二四年 元旦

謹賀新年

電通共済生協グループ 理事 長 佐々木 希

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2丁目101番地 ワテラスタワー16階

2024年、新たな年を迎えました。全国各地の情報労連の仲間、皆様にはいつも温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

私、吉川さおりは2007年7月の初当選以降、経済産業委員長、国土交通委員長、地方行政、消防防災、郵政、放送行政を幅広く所管する総務委員会に所属し、与野党双方の立場で委員会の取り組みを担う筆頭理事を複数回経験し、現在も3期17年目の議員として総務委員会に所属しています。

2023年は電気通信事業法やNTT法の在り方が話題となり、競争政策の観点、また雇用労働の観点から経験を活かして、これらの議論に携わっていききたいと思っています。

私の所属委員会は総務委員会と同時に参議院の運営を司る議院運営委員会も長く所属しており、現在では再び筆頭理事を務めています。本会議における法案採決のタイミングをはじめ、国会運営すべてを担う立場であるものの、地味で目立たない委員会ではありますが、国会運営面から尽力すること、いまは当たり前のようになつてしまっている問題点をあぶり出したことなどについても訴えていきたいと考えています。

これまでの国会活動で取り組んできた情報通信以外の政策課題も含め、初心と感謝の気持ちで常に立場に立つた政治の推進に向けて力を尽くしてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

2024年はどんな年!?

2024年は「甲辰（きのえたつ）」です。陰陽五行説によると「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があります。そのため2024年は昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年になるでしょう。また辰である「龍」は権力の象徴ともされている動物です。そのような力あふれるような年になりやすく、活気づくような年になると言われています。

【辰年生まれの著名人】
浜辺美波、新垣結衣、佐々木希、阿部寛、クロちゃん、出川哲郎

本年もよろしく
お願いいたします

本部役職員一同

執行委員長 村上 良智
副執行委員長 渡辺 慎也
書記長 齊藤 和幸
執行委員 根本 崇徳
会計監査 藤本 健佑
書記 吉野 康平
小野 研逸
三浦 千秋

2024
HAPPY
NEW YEAR!!

2023年度～2024年度役員紹介



執行委員長	村上 良智	執行委員 (青森)	増川 貴志 (新任)	執行委員 (宮城)	岡 宏二郎 (新任)
副執行委員長	齊藤 慎也	執行委員 (秋田)	木幡 祥平	〃	佐藤 敦志
副執行委員長 (宮城)	渡辺 貞利	〃	児玉 雅樹 (新任)	〃	菅原 和宏 (新任)
〃	菅原 友貴	執行委員 (岩手)	澤田 宏明 (新任)	執行委員 (山形)	武田 和磨
副執行委員長 (秋田)	佐々木 昌一	執行委員 (宮城)	曾根 健佑	〃	丹野 陽介 (新任)
副執行委員長 (青森)	佐藤 克頼	〃	神名川 雅俊	執行委員 (福島)	佐藤 幸将
副執行委員長 (岩手)	石川 脩文	〃	鈴木 聡	〃	高野 美幸
書記長	根本 和幸	〃	遠藤 広崇	〃	大槻 将司
		〃	夏堀 紅生 (新任)		



①夏堀 紅生
②すべての方が働きやすい環境を作るため日々改善に取り組んでまいります。



①岡 宏二郎
②組合員一人一人が安全・安心でできるような環境になるよう、全力で取り組んでいきます。



①菅原 和宏
②新しいことに挑戦しつつ、なんでも相談しあえる職場づくりに取り組みます。



①増川 貴志
②すべての働く仲間との立場に立った働き方の改善を重点に取り組みます。



①児玉 雅樹
②すべての従業員が安全に安心して働けるような職場づくりに努めたいと思います。



①澤田 宏明
②組合員一人一人が安全に働くことが出来る、充実した労働環境を作る事を目標に取り組んでいきます。



①丹野 陽介
②何事にも誠実に取り組み、信頼関係を築き頑張りたいと思います。



執行委員長	渡辺 亮太	執行委員 (福島)	金成 曉 (新任)	執行委員 (宮城)	渡邊 英樹
副執行委員長	吉野 康平	執行委員 (岩手)	布田 隆成 (新任)	〃	佐藤 正淳 (新任)
〃	千田 政之	〃	八重樫 寛 (新任)	執行委員 (山形)	羽田 勇司 (新任)
書記長	奥野 肇	〃	三浦 幸也		
執行委員 (青森)	笹 貴仁 (新任)	執行委員 (宮城)	藤本 崇徳		
〃	前川 健一郎	〃	泉澤 克哉		
執行委員 (福島)	佐原 健太郎 (新任)	〃	小野寺 龍也		



①佐藤 正淳
②自分自身が組合活動をする中で、働く皆様の組合への理解が深まるよう積極的に取り組みます。



①笹 貴仁
②新しいことに挑戦しつつ、働く皆様の力になれるよう全力で取り組みます。



①布田 隆成
②組合活動に積極性を持ち、役員としての役割を果たし全組合員が安全で安心できる職場を目指し全力で取り組みます。



①八重樫 寛
②新しいことに挑戦しつつ、働く皆様の力になれるよう全力で取り組みます。



①佐原 健太郎
②働く皆様の声を十分に会社に伝え、職場の問題・悩みの改善に取り組みます。



①金成 曉
②役員をやっている良かったなあと感じるように、生き生きと元気にいっばいで活動していきたいと思っていますので、みなさまどうぞよろしくお願ひいたします。



①羽田 勇司
②働く環境が今よりも良くなり、一緒に働く皆様の力に少しでもなれるように取り組んでいきます。

新任役員
顔写真

- ① 名前
- ② 役員としての抱負

東北応援
企画

岩手県盛岡市特集！

NYT紙が発表した「2023年に行くべき52カ所」に選ばれた「歩いて回れる宝石的スポット」盛岡市をご紹介します！

アメリカの有力紙「ニューヨーク・タイムズ」は毎年、世界中の記者などの情報をもとにその年に行くべき旅行先として世界各地の都市や地域を紹介しています。

2023年1月12日、「2023年に行くべき52カ所」が発表され、1位のロンドンに次いで2位に盛岡市が選ばれました。

「混雑を避けて歩いて楽しめる美しい場所」として紹介され、海外からの注目が高まることが期待されます。

ニューヨーク・タイムズのホームページには、盛岡市は「東京から新幹線で短時間で往ける距離にあり、人混みを避けて歩いて楽しめる美しい場所」などと紹介されています。

そんな盛岡の中でも、押さえておきたい観光スポットを紹介しましょう。

お勧めスポット①

◇岩手銀行 赤レンガ館

どことなく東京駅丸の内駅舎に似ている岩手銀行赤レンガ館。それもそのはず、辰野金吾は東京駅丸の内駅舎も手がけました。辰野金吾作品の中で現在東北に唯一現存している建築物です。1911年落成してから、約100年余りに渡り銀行として営業していましたが、2012年に銀行としての役割を終え、2016年から一般公開。創建当時の模様や銀行で実際に使われていた金庫なども展示されています。ヨーロッパ風な外観を見るだけでも十分迫力があり、すが、内観も華やかな装飾が充実しているののでぜひ見ていただきたいポイント！



小岩井農場 銀河鉄道SL



岩手銀行 赤レンガ館

お勧めスポット②

◇小岩井農場

小岩井農場は、盛岡付近の雲石町に位置し、日本の歴史的な農場として知られています。明治時代初期に設立され、西洋の農業技術を導入した初代農場主・佐々木高行卿により、日本の農業近代化のモデルとして発展しました。農場内には畑、牧場、工場があり、観光客はこれらを見学でき、歴史や取り組みについて学ぶことができます。施設内には記念館や博物館もあり、農業や畜産に関する展示がされています。また、動植物園もあり、季節によっては様々なイベントやアクティビティが楽しめます。小岩井農場は、その歴史と文化、そしてモデルとなった農業の実践を通じて、訪れる人々に教育的で楽しい体験を提供しています。また、冬季の夜限定ですが、今回で10回目となる「KOIWA Winter Lights 銀河農場の夜」が開催されています。今年は2024年1月8日(月)まで開催されているので、気になる方はイルミネーションによる光の競演を楽しんで下さい！

新春恒例 お年玉クイズ

正解者の中から抽選で30名の方に
お年玉(QUOカード1,000円分)を贈呈します

問題

2023年に行くべき52カ所で第2位に選ばれた都市はどこでしょうか？

※ヒント：岩手県の県庁所在地

＜応募方法＞

右の応募用QRコードもしくは応募用URLより応募ページにアクセスし、必要事項を記入し、応募してください。

▼応募URL

<https://forms.office.com/r/fgUYTNuDPs>



＜応募期間＞

2024年1月4日(木)～1月12日(金)

＜抽選結果＞

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

＜賞品発送＞

2024年2月中旬予定